

幸幸小保発第48号
令和6年 6月 28日

保護者様

幸手市立幸手小学校
校長 川島 正晴

幸手小 COCOLO(こころ)プランの策定について

日頃、本校の教育活動に御理解と御支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて文部科学省は、令和5年3月31日付の通知文書により、不登校対策の「COCOLOプラン」を各学校に周知しました。(「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCOLOプラン)について(通知)」令和5年3月31日付)

これに基づき、本校では、不登校・長期欠席等により教室に入れにくい(入りにくい)児童の支援のため、令和5年12月に「幸手小 COCOLO(こころ)プラン」を策定しました。

今年度も多様な学びの場を提供するため、保護者・地域の皆様におかれましては、別紙のボランティア募集の件と併せて御理解と御協力をお願いいたします。

記

【幸手小 COCOLO(こころ)プラン】

幸手小学校は、次の方策により、不登校・長期欠席等の児童の生活と学習を支援する。

(1)校内教育支援センター(SSR)の設置(註:SSRは、スペシャル・サポート・ルームの略称)

- ①余裕教室を活用したサポートルームを設置する(当面は会議室を利用する)。
- ②教室に入れにくい、心身が教室に向かない傾向の児童の受け入れをおこなう。
- ③センターでは、学習と生活の支援、自立に向けた生活習慣作り等をおこなう。
- ④校内教育支援センター長は、校長が本校教諭の中から充てる(兼ねる)。

(2)教育支援ボランティアの設置

- ①保護者・地域に呼び掛けて、一般公募する。
- ②一人学びを支え、児童と学級とをつなぐ。
- ③学力を個に応じて支える仕組みをつくる。

(3)長期欠席児童の個別解決プランの作成

- ①「児童生徒理解・支援シート」を作成する。
- ②児童及び保護者との相談と目標を設定する。
- ③個人情報への配慮を徹底する。

(4)学校風土の「見える化」

- ①学校評価にみる保護者・教職員の満足度を把握する。
- ②信頼感を育む地域連携と同僚性の育成＝授業の「主体的・対話的な学び」化を進める。
- ③PTAや地域との連携を強化し、教育課程を地域に開く。

担当 教頭 秋葉
電話 42-0042